

特定外来生物

ツルヒヨドリ

久米島町内で、特定外来生物ツルヒヨドリが確認されています。家庭内などでツルヒヨドリを見かけましたら環境保全課まで情報提供をお願いします。ご協力よろしくお願いします。

▲ 特定外来生物の禁止事項

外来種の中でも、特に問題を引き起こす可能性の高い海外起源のものは外来生物法※注1により「特定外来生物」に指定しており、その飼養、栽培、保管、運搬、輸入といった取扱いを規制しています。

※注1 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律



ツルヒヨドリってなに？

ツルヒヨドリは、アメリカ大陸原産のつる性植物です。「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法)に基づく特定外来生物に指定されており、栽培・運搬・保管・輸入・植える・蒔く行為、譲渡などが原則として禁止されています。

沖縄では、1984(昭和59)年にうるま市の天願川河口付近で発見され、現在では、沖縄本島中部を中心に北部や南部にも生育域を拡げています。さらに、石垣島や西表島などでも生育が確認されています。

本種は、さまざまな環境に侵入・定着します。そして、非常に旺盛な繁殖力で、他の植物が生育できないほど勢いよく一面に生い茂ります。

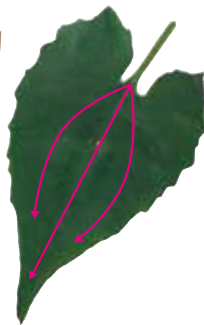
ツルヒヨドリは、驚異的な繁殖力により、在来生態だけでなく、農作物にも大きな被害を及ぼす可能性があるため、発見したらすぐに防除することが重要です。



よく似た葉をもつ在来植物

どれもよく似た葉で、縁がギザギザしています。葉脈の入り方が見分けのポイントになります。

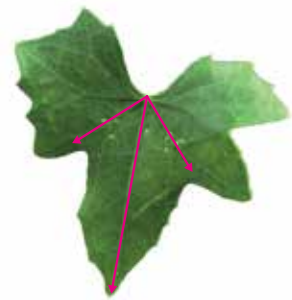
よく似た葉をもつ在来植物と間違えないようご注意ください。



ツルヒヨドリ



ツルドクダミ



クロミノオキナワズメウリ

繁殖力

綿毛をつけた種が風によって飛ばされて増えますが、折れた茎からも再生することができます。

英語で「Mile-a-minute weed」(1分で1マイル広がる雑草)の異名を持ち、つるは1日で10cmほど伸びながら葉を広げていきます。

1つの花から4~6個の種を作ります。1つの株は1年間で25m四方に広がり、多いときには4万個の種を作ります。

放っておくとどうなる？

つるで絡みつきながら成長し、マント状に厚い藪を作ります。他の植物を覆いながら生育するため、もともと生育していた植物は、光が当たらなくなり、いずれは枯れてしまいます。

特に、日当たりの良い場所では、勢いよく生い茂ります。また、農作物などに絡みつく農業被害も報告されています。

【お問合せ】 環境保全課 ☎985-7126